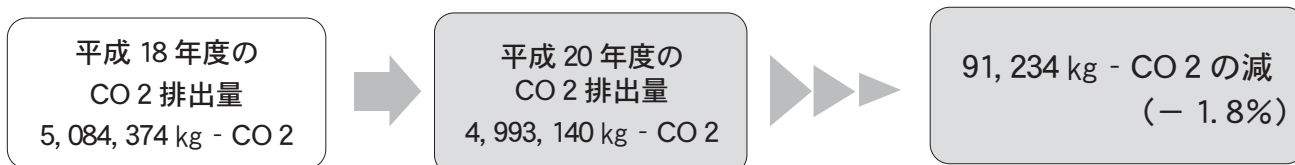


# 平成 20 年度安平町事務事業の温室効果ガス 排出量の結果について

平成 18 年度（基準年）と比較して **1.8%**削減しました

安平町では、平成 20 年度に「地球温暖化対策実行計画」を策定し、町の事務・事業に伴い、排出する温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）の排出量を平成 18 年度基準とし、平成 24 年度までに 6%削減することを目標として、職員による地球温暖化防止に向けた取り組みを行っています。

平成 20 年度における温室効果ガス排出量の結果をお知らせします。



## <燃料種別毎の使用量の比較>

燃料種別	平成 18 年（基準年）	平成 20 年度	比較
ガソリン	32,855.0 ℓ	31,418.1 ℓ	1,436.9 ℓ の減
軽油	22,321.4 ℓ	34,761.2 ℓ	★ 12,439.8 ℓ の増
灯油	175,486.0 ℓ	149,186.1 ℓ	26,299.9 ℓ の減
A 重油	798,276.0 ℓ	801,925.0 ℓ	★ 3,649.0 ℓ の増
LP ガス	3,778.0 m <sup>3</sup>	1,761.2 m <sup>3</sup>	2,016.8 m <sup>3</sup> の減
電気	4,192,886.0 kWh	4,097,737.8 kWh	95,148.2 kWh の減

## 増加・減少の主な要因

### 増加の要因

- 軽油：降雪や積雪、気温等の気象状況により除雪車や排雪車の稼働時間などの影響がみられます。
- A 重油：温水プールの開設期間の延長や各公共施設利用の増による影響がみられます。

### 減少の要因

- ガソリン：公用車（ハイブリッド車）の導入や使用距離、エコドライブの実施による影響
- 灯油：暖房費の節約や気温等による使用量の減少による影響
- LP ガス：ガスの節約や使用量の減少による影響
- 電気：日常業務内でのこまめな消灯など節電による影響

※今後も目標達成に向けて職員一丸となって、省エネ・省資源化に努めていきます。



## 豆知識

年間 1 人当たりの CO<sub>2</sub> 排出量  
(生活基準) 約 2,190 kg - CO<sub>2</sub>  
トドマツが 1 年間で CO<sub>2</sub> を吸収する  
量の約 900 本分になります。  
※北海道ホームページ抜粋



安平町地球温暖化対策実行計画の詳細については、安平町ホームページに掲載しています。

問合せ 住民生活課 ☎ 2940